

25088 C

## 海女漁業の再興を支援する複合魚種の高度生産システムと革新的販売方法の開発と導入

### 1 代表機関・研究総括者

三重県水産研究所・松田 浩一

### 2 研究期間：2013～2015 年度（3 年間）

### 3 研究目的

水産資源の減少による収益性の低下、厳しい操業条件などによって危機的な状況にある海女漁業を支援するため、海女漁業に効果的な新しい生産販売方式を導入し、収益性と操業の効率性を向上させる。

### 4 研究内容及び実施体制

- ① 海女の共同管理による磯根資源の複合的・高度生産システムの確立  
主な対象魚種であるアワビ、ナマコ、海藻類を効率的・安定的に生産するため、給餌や漁場管理など海女が共同で資源の育成・管理を行う磯根資源の複合的・高度生産システムを構築する。

（三重県水産研究所、三重大学大学院生物資源学研究科、東京海洋大学産学・地域連携推進機構、鳥羽市水産研究所）

- ② 流通販売方法の改革による海女漁業の収益性の向上  
海女が漁獲する高品質な水産物に対して、計画的生産や新たな販売手法を導入し、戦略的で収益性の高い販売方式を構築する。

（三重大学大学院生物資源学研究科、三重県水産研究所）

- ③ 海女漁業の再興マニュアルの作成

①、②の成果を取りまとめ、海女や漁協が実践しやすく他海域でも適用できるマニュアルを作成する。

（三重県水産研究所）

### 5 達成目標

沿岸域の重要な漁業である海女漁業の海女一人あたりの収益を現状の1.5倍に高め、海女漁業を存続可能な形態に再生させる。

### 6 期待される効果

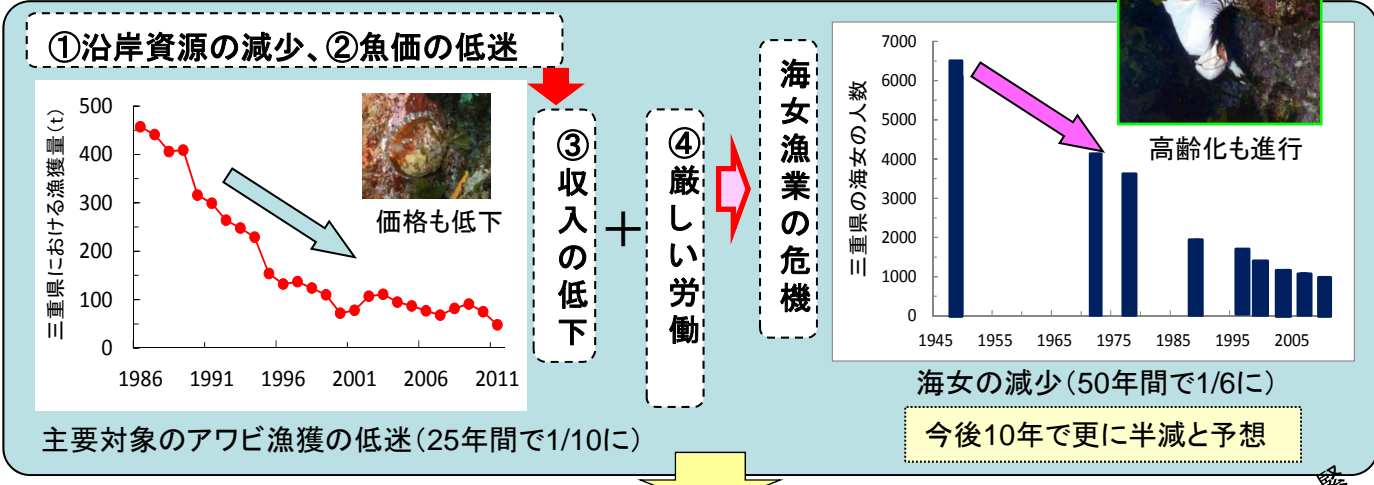
日本古来の漁村の文化、食習慣の伝承に重要な海女漁業を守り、漁村や地域の経済の活性化、国民生活の豊かさの維持に貢献する。

**背景**

海女漁業の重要性

- ・アワビ、海藻等の生産の担い手であり、漁村文化の象徴
- ・観光産業への波及など地域経済の振興に貢献
- ・自然に深く関わる女性の職業として国民から高い人気

しかし、現状は・・・



現場ニーズ: 海女漁業の生産販売構造を改革し、持続的な漁業へ

**既往の成果**

研究チームが持つ技術シーズと知見



**研究内容**

シーズの活用  
課題克服に向けた技術開発と実践的な取り組み

- 海女の管理による磯根資源の複合的・高度生産システムの確立
- ①海藻類の生産を改革する養殖技術と付加価値向上の取り組み
  - ②アワビとナマコの効果的な資源育成手法の導入
- 流通販売方法の改革による海女漁業の収益性の向上
- ①アワビ資源量の把握と畜養技術の向上による計画生産の実現
  - ②海女による価格決定が可能な戦略的販売手法の導入
- 開発した技術のマニュアル化と実践

**成果**

- ・海女漁業の対象魚種の拡大
- ・海女が共同で資源育成・管理を行うことによる生産効率・安定性の向上
- ・収益性の高い販売システムの構築

海女漁業の収益を現状の1.5倍以上に

**波及効果**

- 全国の海女漁業を魅力的な漁業として再生
- 共同操業と販売による新規参入者への支援充実

海女の集会などを活用して他地区への普及促進

各地の特産品として販売  
海女漁業の6次産業化へ